

服用される前にこの文書を必ずお読みください。また、薬とともに大切に保管してください。



鎮 痛
解 熱 薬

ヘデクカプセル

【特徴】ヘデクカプセルは、頭痛・肩こり痛・生理痛などによる痛みや発熱に優れた効果を発揮するアスピリン、アセトアミノフェン、カフェインを配合した服用しやすい鎮痛解熱薬です。また、胃粘膜保護剤を配合していますので胃にやさしいお薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - 15歳未満の小児
 - 出産予定日12週以内の妊婦
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気があらわれることがある。)
- 服用時は飲酒しないこと。 5. 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	皮 膚	消 化 器	精神神経系
症 状	発疹・発赤、かゆみ	悪心・嘔吐、食欲不振	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合

【成分と働き】 1日量（6カプセル）中

成 分	分 量	成 分 の 働 き
アスピリン	900mg	中枢性の鎮痛解熱作用に加え、末梢に作用して痛み の症状を鎮めるとともに抗炎症作用をあらわします。
アセトアミノフェン	600mg	痛みや熱の中枢に作用し、鎮痛解熱作用をあらわし ます。
無水カフェイン	200mg	痛みを抑える成分の働きを助け、頭痛を和らげます。
プロモバレリル尿素	200mg	鎮静作用により、鎮痛効果を高めます。
乾燥水酸化アルミニウムゲル	200mg	胃粘膜を保護して胃の荒れを防ぎます。

添加物：タルク、二酸化ケイ素、ゼラチン、トウモロコシデンプン、ラウリル硫酸Na、赤色3号、黄色4号（タートラジン）、酸化チタン

【効能・効果】

1. 頭痛、歯痛、抜歯後の疼痛、咽喉痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛、打撲痛、骨折痛、ねんざ痛、月経痛（生理痛）、外傷痛の鎮痛
2. 悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。水またはお湯と一緒に服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	大人（15歳以上）	15歳未満
1 回 量	2 カプセル	服用しないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) カプセルの取り出し方：右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、カプセルを取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談窓口】 平坂製薬株式会社 電話 095-822-2861

ホームページ <http://www.hirasaka.co.jp/>

製造販売元 平坂製薬株式会社 長崎県長崎市金屋町9番23号